

よいことのために
手を取りあおう



脇町ロータリークラブ

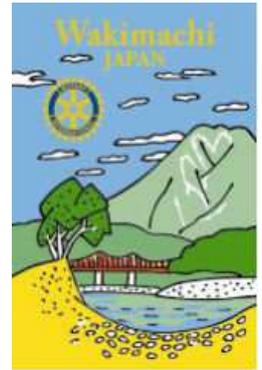
第2670地区

徳島第2分区 脇町ロータリークラブ

2025年9月25日(木)

第12回例会 No.2947

会員総数:38名 出席人数:25名 出席率:65.8%



◎本日のゲスト

ガバナー：織田 英正 様(高知南RC)
北川 眞知子 様(高知南RC) 宮本 貴光 様(高知南RC)

◎メイクアップ

◎会長挨拶

脇町RC

須藤会長

皆さん、こんにちは。本日はご多忙の中、織田ガバナー様をお迎えできましたこと、クラブ一同より歓迎申し上げます。また、遠藤ガバナー補佐をはじめ随行の方々にもご臨席をいただき、誠にありがとうございます。私たち脇町RCは、2025-26年度の活動方針・テーマのもと、それぞれの立場で地域社会への貢献を目指し、日々活動しております。本日の公式訪問を通じて、織田ガバナーよりご指導ご鞭撻を賜り、今後のクラブ運営に活かしてまいりたいと存じます。短い時間ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

美馬RC

辻会長

皆様、改めましてこんにちは。挨拶で織田ガバナーに関してのことをご紹介申し上げます。織田様は歯科医師でいらっしゃるようで、とても歴史のある歯科医院を運営されております。医療法人織田デンタルオフィス理事長様、そして社団法人高知歯科医師会の会長をされ、財団法人8020推進財団の評議員をされております。この8020運動と言うのですけれども、これは80歳になっても自分の歯を20本以上持とうという運動でして、非常に大事なことだなというふうに私も思います。ぜひとも私も80歳になって20本ほど歯が残っていると非常にいいなと思ひまして、最近では美馬RCの美馬先生のところで歯の面倒を見ていただいております。非常に食べ物が自分の歯で噛めて食べるということは健康にもつながることになると思ひますので、ぜひともこれを実践というか、目標として日々のケアをしていきたいと思っております。歯医者さんに行くと、この前失敗したなと思うのは、虫歯の治療をしていただいたのですが、麻酔が3時間くらいやはり残るわけです。私、喋りが仕事なものですから、その後に接客がありまして、痺れていてうまく喋れないわけです。そして、お茶を飲むとこぼれるというですね、非常に情けない思いをいたしましたので、皆様ぜひとも歯の治療の際にはその後のスケジュールをよく調整されることをお勧めいたします。簡単ではありますが、挨拶に代えさせていただきます。本日はどうもありがとうございます。

◎幹事報告

細川幹事

到着週報 鴨島RC 洲本RC 阿波池田RC

到着書類

報告事項 静内RC訪問：9/29～10/1 6名で訪問
10月より新入会員として三谷さん（㈱アリエス）が入会されます

連絡事項 例会終了後に参加者全員でガバナーと記念写真撮影を行います

◎プログラム

卓話

織田英正ガバナー

皆さん、こんにちは。今期、国際ロータリー2670地区のガバナーを務めます織田英正と申します。本日は訪問の機会をいただきありがとうございます。今年度の国際ロータリー会長は、イタリア出身のフランチェスコ・アレツツォ氏です。そのテーマは「よいことのために手を取りあおう」というものです。私は世界大会が開催されたカナダのカルガリーでアレツツォ氏にお会いしました。途中、会長の交代という異例の事態がありましたが、このテーマは変更されることなく引き継がれました。私がロータリーに入会したのは1981年のことです。入会当時の写真を見ますと、現在も高知南ロータリークラブに残っているのは、私と藤原さんの2名のみです。他の方々は退会されたり、亡くなられたりしています。この事実が示すように、会員増強は常に続けていかなければ、会員数を保つことができません。今年度、私が掲げる方針は「地域密着のロータリーを目指そう」です。前ガバナーの夏見ガバナーが「青少年に夢を」と言われたように、そうした取り組みも含めて、地域に根ざしたロータリー活動を展開していただきたいと考えています。ロータリーは地域から認められて初めて、真のロータリーと言えます。40年前、私が入会した時にいただいた職業宣言には「事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私は以下の要請に応える」と記されています。職業を通じて地域のために尽くすことが、ロータリアンの本質なのです。現在は、ロータリーには五つの奉仕部門があります。それぞれの部門が地域のために活動しています。すべてのクラブが五部門を均等に行うのは難しいため、各クラブが得意な分野で実践されています。私どものクラブでは、長年にわたり植樹活動を継続しています。桜や椿、街路樹などを植える活動や、献血への参加など、様々な事業に取り組んでいます。各クラブの事業計画書を拝見すると、本当に多様な活動が展開されていることがわかります。

話は変わりますが今年の地区大会は、来月10月24日、25日に高知市で開催いたします。「よいことのために手を取りあおう」というテーマのもと、地域の元気を保つためにロータリーができることを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。地域の課題を見つけ、解決策を考える。ただお金を出すだけでなく、それぞれが動いて実践していくことが大切です。特に最近若者が減少しています。未来を担う若者たちを守り、助けることもロータリーの役割です。インターアクトクラブの提唱

なども含め、子どもたちへの支援を積極的に行っていきましょう。私が入会した当時、女性会員は一人もいませんでした。女性が入会するようになった今、特にハラスメントには注意が必要です。特に私のような高齢者は、気づかずにハラスメントをしていることがあります。ロータリー章典には「虐待対応及びハラスメントの防止とその報告手続き」が明記されています。マイロータリーに登録すれば、ウェブ上で確認できます。重要なのは、報告手続きです。一般会員がハラスメントを報告する場合、幹事や会長、地区、ガバナーだけでなく、国際ロータリー（RI）に直接報告することも可能です。この点からも、RIがハラスメントに対して非常に神経質になっていることがお分かりいただけると思います。ところで、私は国際ロータリー第2670地区のガバナーです。「2670（にーろくななまる）」という呼び方をする方も多いですが、正式な呼び名は英語なので正しい呼び方を使っただければと思います。今年2月、フロリダ州オーランドで開催された国際協議会に出席しました。これはガバナーになるための必須条件です。その後、6月にカルガリーで国際大会があり、2670地区からも10人以上が参加しました。私のガバナー任期は、2025年7月から2026年6月30日までです。任期終了後もパストガバナーとして、地区の運営に関わり続けることとなります。来年6月には台北で国際大会が開催されます。多くの方にご参加いただき、アレツォ会長とお会いできる機会になればと思います。私のガバナー事務所は高知市にあります。メールやホームページでご確認いただけます。現在2名の事務局員で運営しています。また、支援事務所が高知市の国際ホテルにあり、以下の委員会を担当しています。・青少年奉仕委員会 ・ロータリー財団委員会 ・国際奉仕委員会 ・米山記念奨学委員会 これらは継続事業が多いため、支援事務所で管理しています。二つの事務所を持つことは経費の面で課題もあり、将来の運営については検討が必要です。ご意見がありましたら、ぜひお寄せください。今年度も、ロータリー活動、特に地区の活動にご協力をよろしくお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

◎ニコニコボックス

織田ガバナー(高知南RC) 遠藤ガバナー補佐(脇町RC) 宮本様(高知南RC)

◎次回例会

2025年 10月 2日 (木) 12:30 ~ 清月屋敷

◎次回プログラム

次回卓話 佐藤 俊彦会員

☆次の会員は例会欠席でした。

足谷会員・加島会員・兼西会員・上柿会員・川原会員・木下会員・香西会員
武田会員・友成会員・橋本会員・秦会員・山本会員・吉野会員

☆次回例会の出欠を 佐藤直樹出席委員長まで連絡してください。